

研究指導の概要

■ 大学院理工学研究科理学専攻（博士前期課程）

学年	学期	研究指導の概要
1 年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新入生オリエンテーションにおいて、授業科目の履修や研究スケジュールについてのガイダンスを受ける。 ・ 主指導教員と副指導教員を決定する。必要に応じて、2人以上の副指導教員を定める。 ・ 指導教員との議論を通して研究課題を設定する。4月中に当年度の研究計画を作成し、その後、主指導教員から指導計画について説明を受ける。 ・ 主指導教員と相談の上、履修授業科目を決定する。 ・ 大学院共通教育科目を通じて知的財産、法令遵守、研究倫理、情報セキュリティ、安全衛生管理などを学ぶ。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通科目や分野横断科目、分野専門科目を受講し、研究成果の取りまとめ等に関する知識や技術、分野を問わず求められる基盤的な素養と多元的な視点・思考法、研究課題に応じた専門知識を修得する。 ・ 指導教員より研究指導を受け、可能であれば学会発表や査読付き学術雑誌等への投稿を行う。
2 年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月中に当年度の研究計画を作成し、その後、主指導教員から指導計画について説明を受ける。 ・ 指導教員より研究指導を受け、学位論文の構想をまとめ、執筆を始める。 ・ 可能であれば、学位論文に関するテーマについて学会発表や査読付き学術雑誌等への投稿を行う。 ・ 学位論文題目を提出する（12月10日正午締切；休日の場合はその前日または前々日となる）。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学位論文を提出する（2月10日正午締切；休日の場合はその前日または前々日となる）。 ・ 審査と最終試験を受ける。公聴会（学位論文発表会）で学位論文について発表を行う。優れた発表を行った学生は表彰の対象となる。